

[プロジェクトポリシーNo] 007

[プロジェクトポリシー名] 地域モビリティ

作成日 令和 6 年 11 月 5 日

発足者 株式会社博報堂

【プロジェクトコミュニティ概要】

テーマ	・地域生活交通課題の解決を目指して、地域交通全体の再編計画策定の道筋を示すとともに、新たな地域交通サービスによる交通空白地の解消を推進する。
取組の背景	・人口減少や高齢化によって公共交通をはじめとする地域交通は、持続的な運営が困難な状況にある。特に地方を中心に、高齢者や免許返納者が増加する一方で、民間バス路線の縮小やタクシー事業者の撤退が進み、既存の交通事業者だけでは公共交通を維持できない地域が拡大している。自治体運営のコミュニティバスも多くが赤字であり、デマンド型への移行も進んでいる。他方、地方では依然としてマイカー保有率が高く、地域内のモビリティ資産（マイカー、スクールバス、福祉車両等）は豊富に存在する。これらの地域資産を最大限活用し、既存のバス・タクシー事業者とも協調しながら、地域共創型の新たなモビリティサービスを導入することが、交通空白地の解消と持続可能な地域交通の実現に不可欠となっている。
取組の目的及び達成するゴール	目的: ・交通空白が目立つ地方や小規模自治体を主な対象とし、地域共創型の新たなモビリティサービスの意義と可能性を広く認知・理解してもらい、その導入を推進することで、全ての人々に移動の自由を提供することを目指す。 ゴール: ・小規模な自治体においても持続的に運営可能な、地域資産（マイカー、スクールバス、福祉車両等）を活用した低コストな地域交通サービスモデルを提示する。 ・低コストでのサービス提供を実現するための、持続可能な運営体制（運行主体、運行管理、ドライバー確保策など）のあり方を検討・提案する。 ・テーマ別サービスの基準設定、導入検討自治体の課題分析・絞り込み、システム機能要件の仮説構築などを行う。

【プロジェクトコミュニティ参加者に求める要件・事項】

参加のルール・発生するコスト条件	【参加のルール】 ・コミュニティ活動への積極的な参加、知見や情報の共有、実証等への協力 ・協調領域の活動であり自社のサービス製品のPR・売り込みの場ではないことを理解すること。 【コスト条件】 ・基本的に無償の活動とする。会員に会費を求めることもなく、会員からの情報の対価として報酬を支払うことも想定していない。
リスク対応	・想定されるリスク及び顕在化したリスクは、コミュニティ参加者間で共有を行い、話し合いを通じて解決を目指すこととする。
知的財産の取扱い ※会則第47条抜粋	・デジタル化横展開推進協議会の会則第47条の規定に準じる。コミュニティ活動を通じて得られた知的財産権の帰属や利用条件については、会則の定めに従うものとする。
備考	・本プロジェクトコミュニティでは、自治体へのヒアリングや事業者との協議を通じて具体的なサービスの基準設定やシステム要件定義を進める予定。
関係省庁 (希望)	・デジタル庁